

拝啓

トータルハードマネージメントサービス顧客農家の皆さま

大変ご無沙汰しております。昨年退職しました獣医師の寺内です。

僕たち夫婦の間に第一子が誕生したので、近況とともにご報告させていただきます。今年の12月23日に妻が元気な男の子を生んでくれました。今はイクメンを目指して、毎日お風呂に入れたりオムツを替えたりと、育児に奮闘しております。洗い物や掃除もたまにやっています！



名前は「光史（みつひと）」です。可愛くていくら眺めていても飽きません！

栃木に帰ってきてからおよそ10カ月、父から引き継いだ農家さんとの信頼関係を大切にしつつ新しいお客さんも順調に増え、徐々に新しいことにも挑戦して、充実した毎日を送っております。定期的な繁殖検診も受け入れられ始め、少しずつですが蹄病は治療するものだという認識も広がりつつあります。これから採卵も挑戦する予定です。新しい仕事を自分で作る喜びを日々感じています。

余談ですが、先日、栃木の農家さんから「もし除角の麻酔の仕方がわかれば教えてほしい」と言われたことがありました。手元の大切に切り抜いた新聞記事はなんと佐竹先生の写真とカーフサービスの記事！なんていうことがありました。もちろんこの農家さんは、僕がこの写真の人物に対してトラウマがあることなど知りません！熱心に赤ペンまで引いて、とても嬉しい出来事でした。



マラソンも細々と続け、1月にはハーフマラソンに出場し、秋にはフルマラソンを走る予定です。いつかまた別海パイロットマラソンに出場し、アキアジを持って帰ろうと思います！

雪のほとんどない栃木では（県北那須は雪深いです）が僕の生活圏は雪のない平地なので、冬が中途半端な気がして、別海の寒さや雪道が懐かしいです。暖かくなったら一度子どもを連れてまた別海にお邪魔したいと思っています。インフルがどこかしこで広がっておりますので、どうぞ皆さまお気をつけてご自愛ください。

敬具
寺内宏光